

5 学年部会

【研究主題】 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育
 【研修会主題】 学んだことを社会や生活に生かす学習過程のあり方

【研修会主題に迫るための視点】

<p>視点① 主体的な学びを実現するための、予想と見通しを生かした単元づくり</p>	<p>① 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報と産業の関わりについて具体的な事例(材)との出会いを大切にする。 子どもたちが我が国の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報と産業の関わりについて自分事として捉えるためには、具体的な事例(材)との心理的距離を縮めていく必要がある。そのために、子どもたちにとって関わりやすく、我が国の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報と産業の関わりについての課題や発展を捉えやすい具体的な事例(材)を考えたり、導入を工夫したりする必要がある。そのことを生かし、「単元を見通す学習問題」や「学習計画」を立てていくことで、子どもたちの主体的な学びの実現につなげていくようにする。</p> <p>② 子どもたちの問題意識に合わせて、様々な立場に立って考えたいできるような資料を選定する。 子どもたちの学習計画や、前時までのふり返りやみとりを生かしながら、子どもたちの問題意識に合わせた資料を選定したり、資料の提示の仕方を工夫したりする。また、子どもたちが、さまざまな立場に立って考えを広げたり、深めたりすることができるように資料を選定する。</p> <p>①②で行う教師の手立ての効果について、学習問題と子どもたち(数名の抽出児童)のふり返りや発言から子どもが表現する言葉がどのように変化したが、授業の中で加わった新たな考えが子どもの言葉でどのように表現されているかなどで検証する。</p>
<p>視点② 社会的事象の意味等に迫るために、協働的な学びを大切に授業づくり</p>	<p>① 子どもたちのみとりを生かしながら、子どもたちの考えをつなげることを意識し、社会的事象の意味等に迫るための効果的な手立てを考えて授業を展開する。 子どもがその社会的事象についてどのように考えているか前時までのふり返りやみとりから教師が捉える。そのことを生かし、子どもたち同士の考えをつなげることを意識しながら、社会的事象の意味等に迫ることができるような教師の手立て(構造的な板書・発問・資料提示のタイミング)を考えていくようにする。</p> <p>教師の手立ての効果について、授業記録等をもとに、教師が行った手立て(構造的な板書・発問・資料提示のタイミング等)前後の子どもが発言の変化から検証する。</p>



【5 学年部会で目指す子どもの姿】

- 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報と産業の関わりに見られる社会的事象の意味等について、自分事として捉え、生活経験や既習事項、資料などを基に多角的に考えることのできる姿。
- 根拠をもとに自分の考えを表現し、互いに伝え合いながら、学びをつなげたり、深めたりする姿。
- 学んだことを生活や次の学習に生かそうとする姿。



【学習内容と学習指導要領の関わり】

<p>我が国の農業や水産業における食料生産</p>	<p>農業や水産業における食料生産における盛んな地域の具体的な事例を通して調べる。生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って多角的に考え、これからの食料生産の発展に向けて自分の考えをまとめることができる姿。</p>
<p>我が国の工業生産</p>	<p>工業生産における人々の工夫や努力について、具体的な事例を取り上げて調べる。学習したことを基に、消費者や生産者の立場、人々の安全、環境、価格、利便性、バリアフリーなどに対する願いが工業生産により実現されていることや、優れた技術やその向上が我が国の工業をより発展させること、工業生産を通して我が国と外国との関わり方など、我が国の工業の発展について自分の考えをまとめることができる姿。</p>
<p>我が国の国土の自然環境と国民生活</p>	<p>自然災害については、我が国に過去に発生した自然災害を国土の自然条件と関連付けて考える。公害については、「大気汚染、水質汚濁など」の中から具体的な事例を選択して取り上げて調べる。国民一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活の維持・改善に配慮した行動が求められなど国民一人一人の協力の必要性に気付く。自分たちに協力できることを考えたり、選択・判断したりする姿。</p>